

MBH

マネックス・ビーンズ・ホールディングス株式会社

平成17年3月期 決算発表説明会

平成17年4月25日 東証アローズ

この資料に掲載されている事項のうち、過去の実績・事実でないものは、将来の業績に関する見通しが含まれています。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「確信」、「期待」、「計画」、「戦略」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限定されるものではありません。口頭もしくは書面による見通し情報は、広く一般に開示される他の媒体にも度々含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断にもとづいています。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、これら業績見通しのみで全面的に依拠することは控えるようお願いします。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。(1) 当社の顧客獲得や顧客基盤を継続的に維持する能力(2) 当社が事業において収益を計上する能力(3) 日本国内における株式委託業務に対する需要の変化(4) 当社が事業継続するために必要なシステムを維持または拡充する能力(5) 当社が主要株主とよい関係を維持できる能力 などです。ただし、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。リスクや不確実な要素には、将来の出来事から発生する重要かつ予測不可能な影響も含まれます。また、掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等に関し、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。また、この資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

目次:

.財務情報および事業の概要

【業績概要】

2005年3月期決算 前期比較	…	3
2005年3月期決算 前四半期比較 (3ヶ月)	…	4
四半期別ハイライト	…	5
純営業収益 vs. 販売費及び一般管理費	…	6

【他社比較】

個人投資家による株式売買推移(主要リテール証券比較)	…	7
<参考>		
個人の株式取引動向(個人のネット取引の可能性)	…	8
四半期別ハイライト(主要オンライン証券比較)	…	9

【サービス概要】

株式委託ビジネス	…	10
引受ビジネス	…	11
投資信託ビジネス	…	12
FX(外国為替保証金取引)ビジネス	…	13
債券ビジネス	…	14
オルタナティブ投資	…	15
独自サービス	…	16
商品ラインナップ	…	17
新サービス(1)(2)	…	18
投資教育	…	20

.経営モデルと今後の展開

ミッション・ステートメント	…	22
ビジネスモデルの現在と未来	…	23
進む他業種との提携	…	24
フルラインサービスの実現	…	25
合併効果	…	26
MBHグループの現状と今後	…	27
株主の皆様へ	…	28



.財務情報および事業の概要

.経営モデルと今後の展開

業績概要： 2005年3月期決算 前期比較

(単位:百万円、%)

	2004年3月期	2005年3月期	対前期比 増減
営業収益	15,075	21,716	44.0%
純営業収益	14,437	20,690	43.3%
販売費及び一般管理費	8,960	11,424	27.5%
営業利益	5,477	9,266	69.2%
経常利益	5,484	9,180	67.4%
純利益	4,793	7,079	47.7%

(2003年4月～2004年3月)

(2004年4月～2005年3月)

(単位:百万円、%)

	2004年3月期	2005年3月期	対前期末比 増減
総資産	156,491	232,091	48.3%
純資産	22,492	29,811	32.5%
自己資本規制比率	521.7%	470.6%	-
現金・預金	15,983	26,004	62.7%

(2004年3月末)

(2005年3月末)

2005年3月期第2四半期以降の数値はMBH連結、それ以外の数値はマネックス証券と日興ビーンズ証券の単純合算の数値です。
自己資本規制比率はマネックス証券と日興ビーンズ証券の「控除後自己資本」、「リスク相当額」をそれぞれ単純合算して計算した比率です。
(以下全てのページ同様)

業績概要： 2005年3月期決算 前四半期比較 (3ヶ月)

(単位:百万円、%)

	2005年3月期 第3四半期(3ヶ月)	2005年3月期 第4四半期(3ヶ月)	対前四半期比 増減
営業収益	4,887	6,533	33.7%
純営業収益	4,596	6,340	37.9%
販売費及び一般管理費	2,721	3,004	10.4%
営業利益	1,875	3,336	77.9%
経常利益	1,874	3,322	77.2%
純利益	1,014	1,784	75.9%

(2004年10月～12月)

(2005年1月～3月)

(単位:百万円、%)

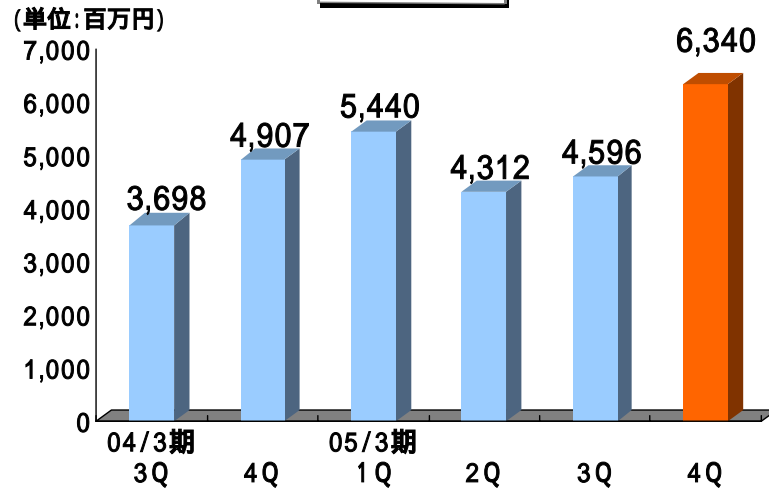
	2005年3月期 第3四半期末	2005年3月期 第4四半期末	対前四半期末比 増減
総資産	184,837	232,091	25.6%
純資産	28,014	29,811	6.4%
自己資本規制比率	503.7%	470.6%	-
現金・預金	27,665	26,004	6.0%

(2004年12月末)

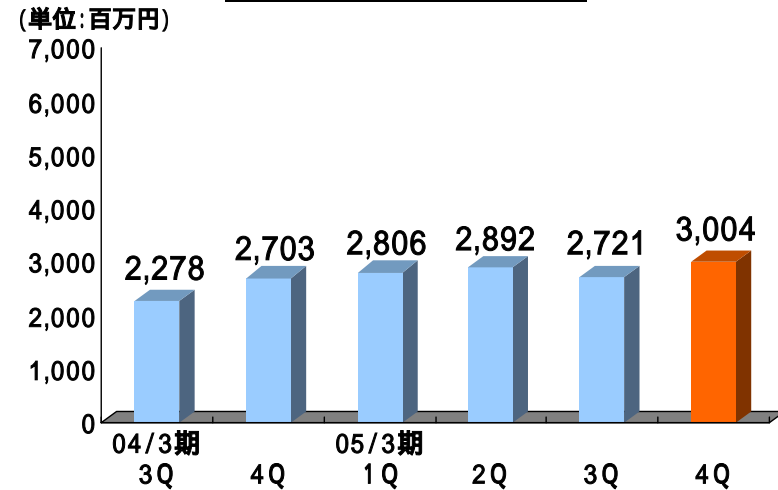
(2005年3月末)

業績概要： 四半期別ハイライト

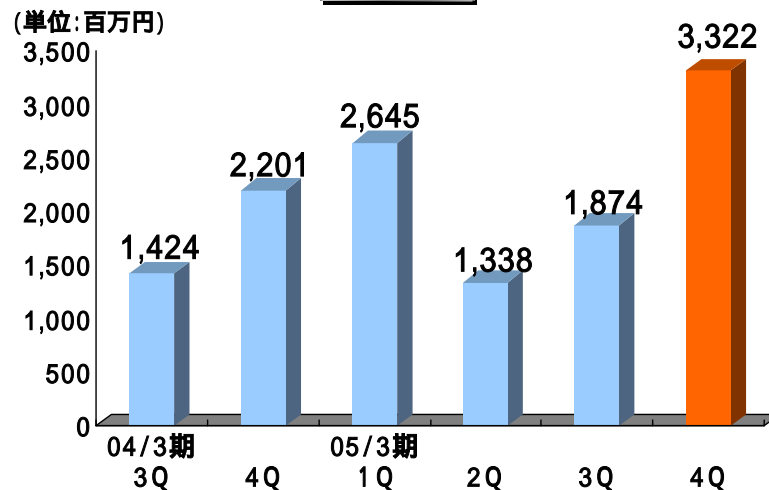
純営業収益



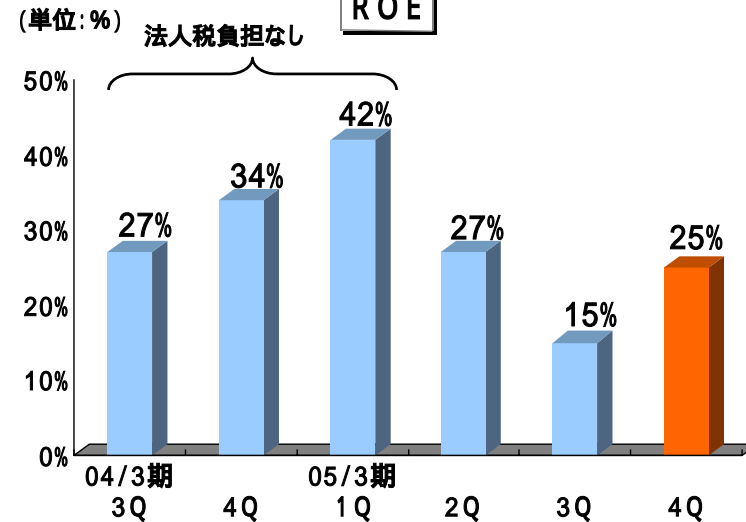
販売費及び一般管理費



経常利益

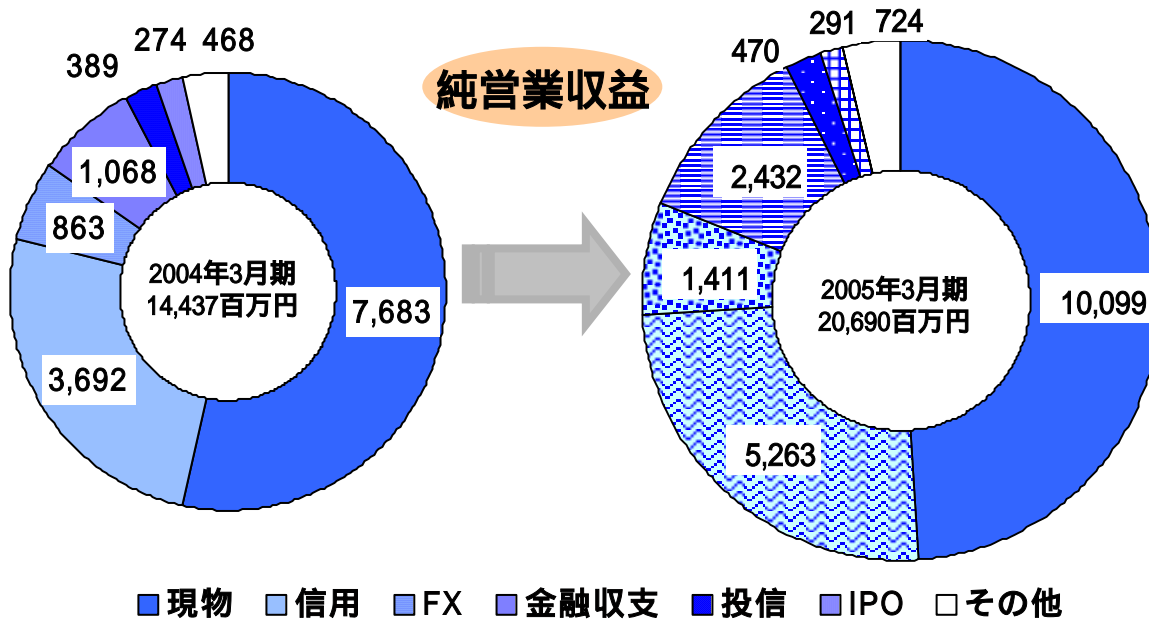


ROE



$$(\text{四半期純利益} \times 4) \div ((\text{各期期首株主資本} + \text{期末株主資本}) / 2)$$

業績概要： 純営業収益 vs. 販売費及び一般管理費



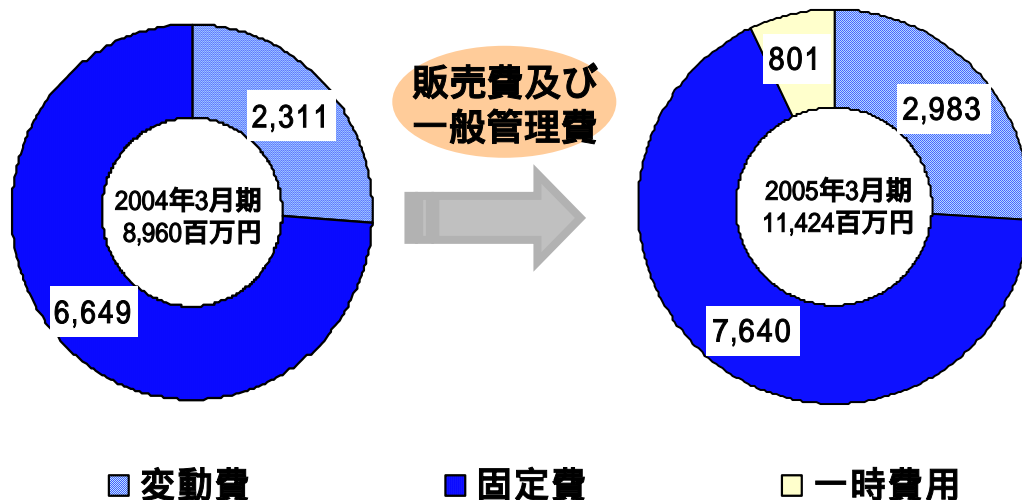
純営業収益に占める委託手数料の割合

2004年3月期・・・79%
 2005年3月期・・・74%

2005年3月期委託手数料以外の収益は全体の約26%となり、固定費の約70%をカバーできる。

損益分岐点分析

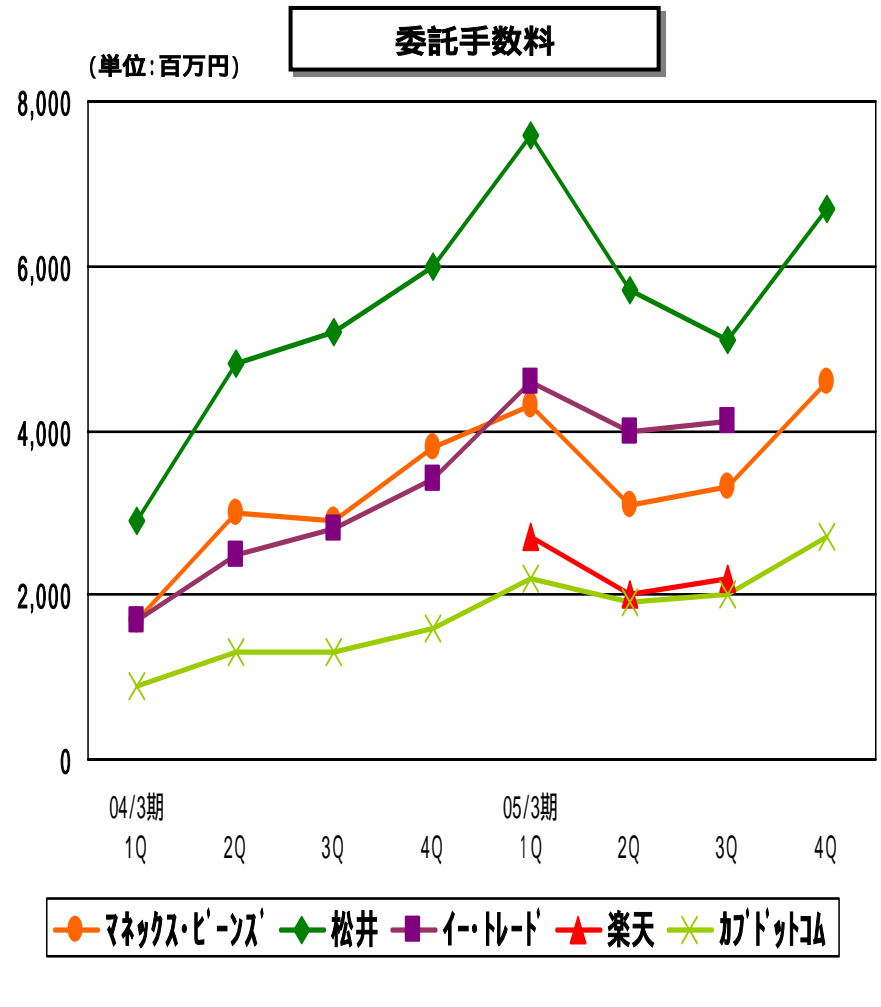
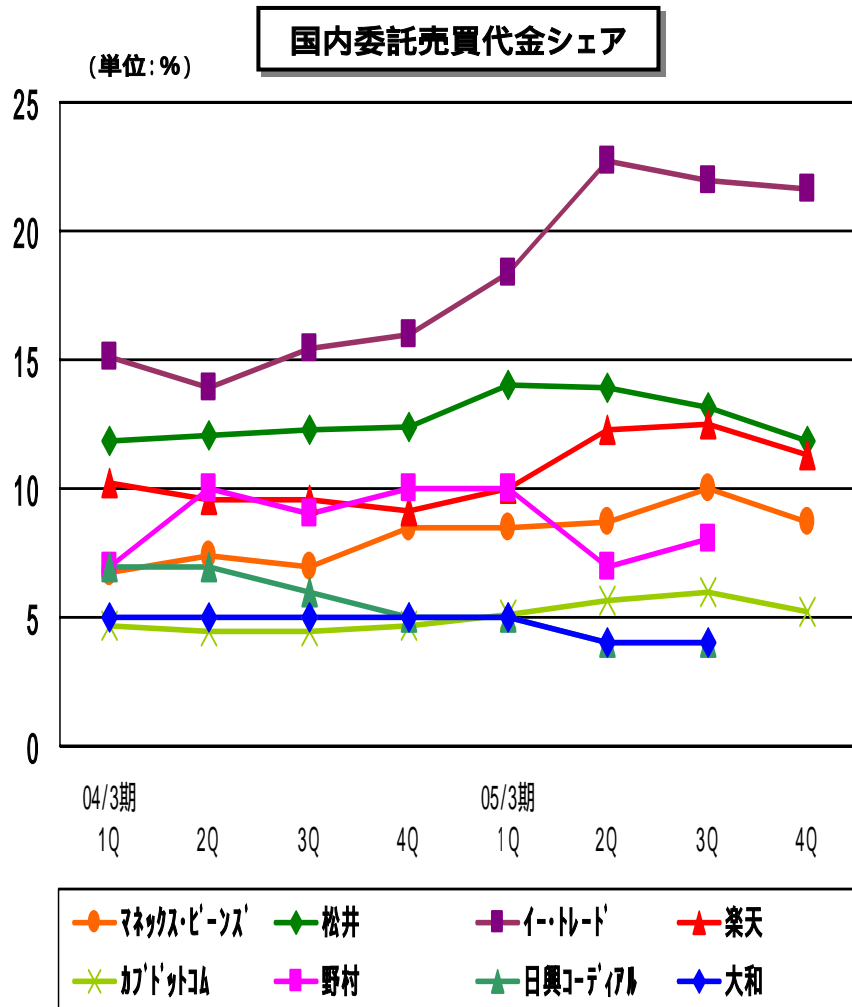
損益分岐：東証売買高約5億株/営業日
 (前提) 東証シェア、委託以外収益は変わらず
 2005年3月期第4Qの実績を基に算定



合併に起因し、一時費用が発生

合併後、システム関連のランニングコストは大幅に削減予定(詳細はP26)

他社比較： 個人投資家による株式売買推移（主要リテール証券比較）

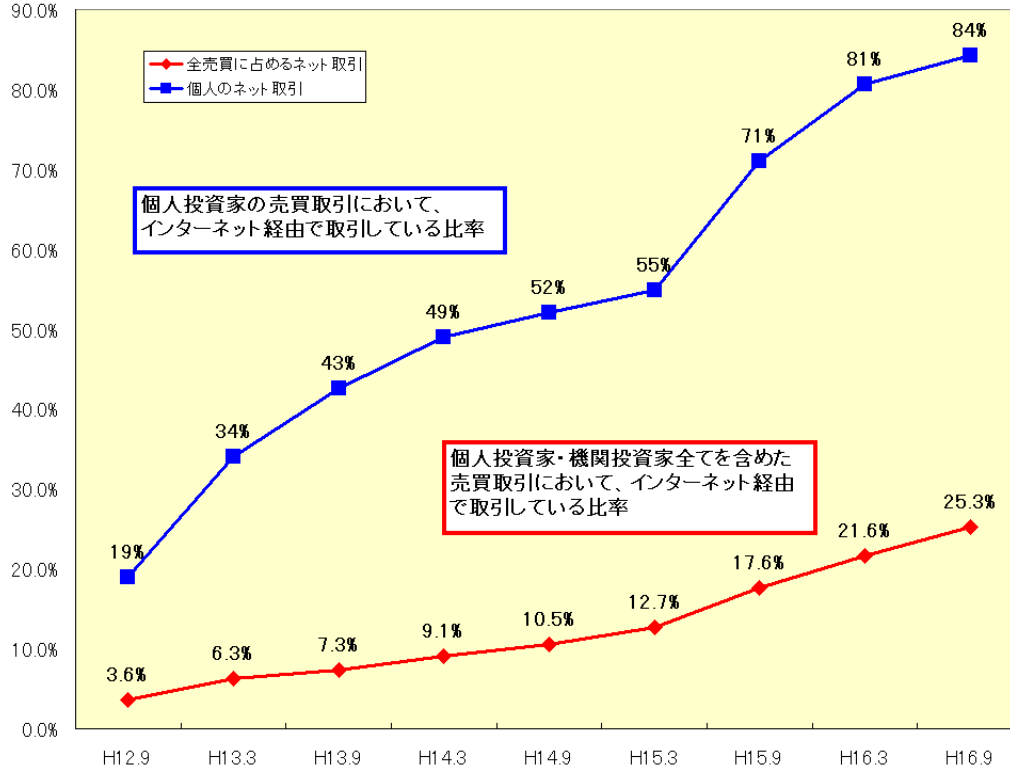


<参考> 個人の株式取引動向（個人のネット取引の可能性）

マーケットにおける株式売買取引の推移

平成15年3月から急速にインターネット経由の取引が増えており、現在は個人投資家の8割以上がインターネット経由で取引をしている

出所：日本証券業協会「インターネット取引に関する調査結果について」

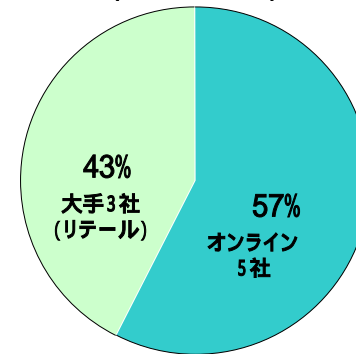


個人取引における オンライン証券と大手証券との違い

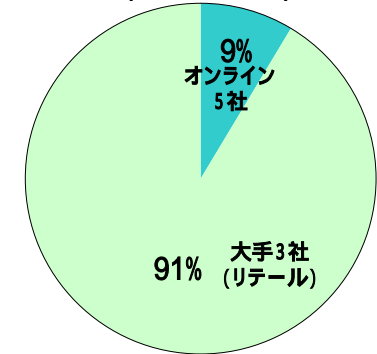
売買代金で比較するとオンライン証券5社合計は、すでに大手証券3社合計を上回るほどの取引を行っているが、預かり資産で比較すると圧倒的にオンライン証券は少ない

今後は預かり資産を増やす施策が重要となる

株式委託売買金額
(2004年3月期)



株式預かり資産
(2004年3月末)



オンライン証券5社

(マネックス・ビーンズ証券、松井証券、イー・トレード証券、楽天証券、ガブットコム証券)

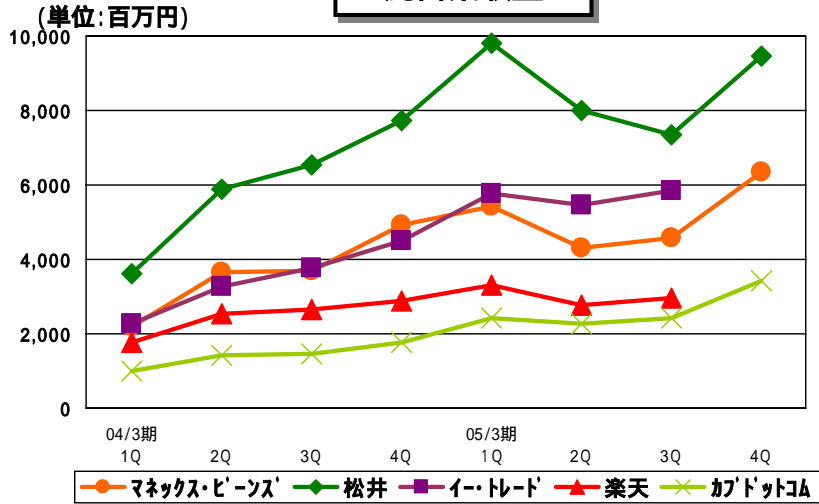
大手証券3社

(野村証券、日興コーディアル証券、大和証券)

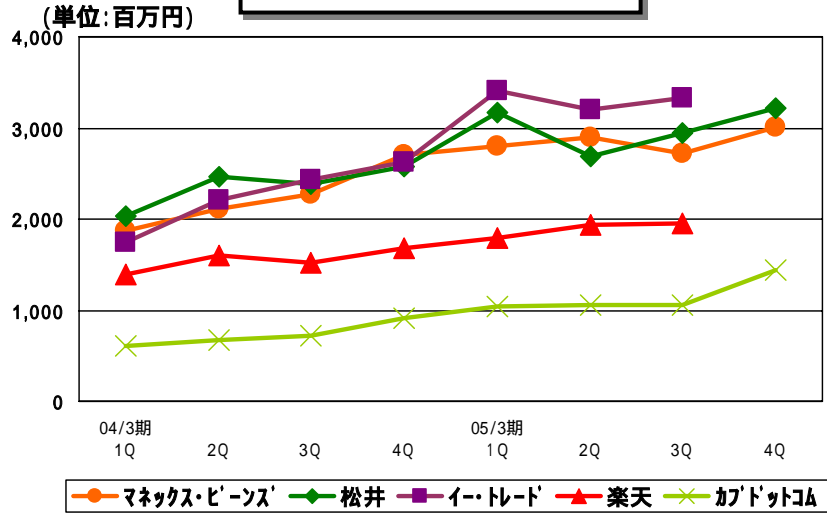
出所：各社IR資料

他社比較： 四半期別ハイライト (主要オンライン証券比較)

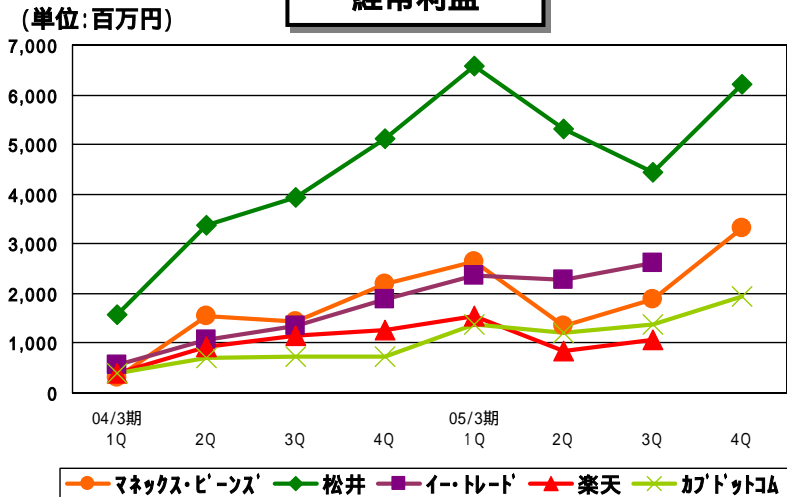
純営業収益



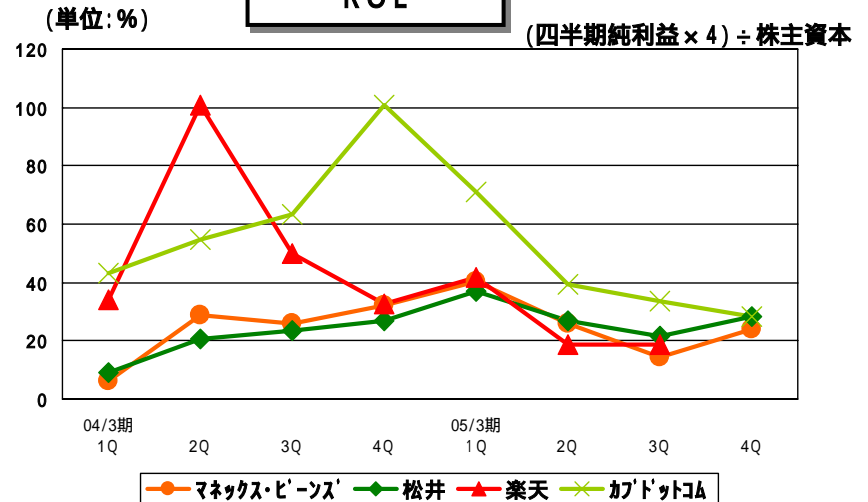
販売費及び一般管理費



経常利益

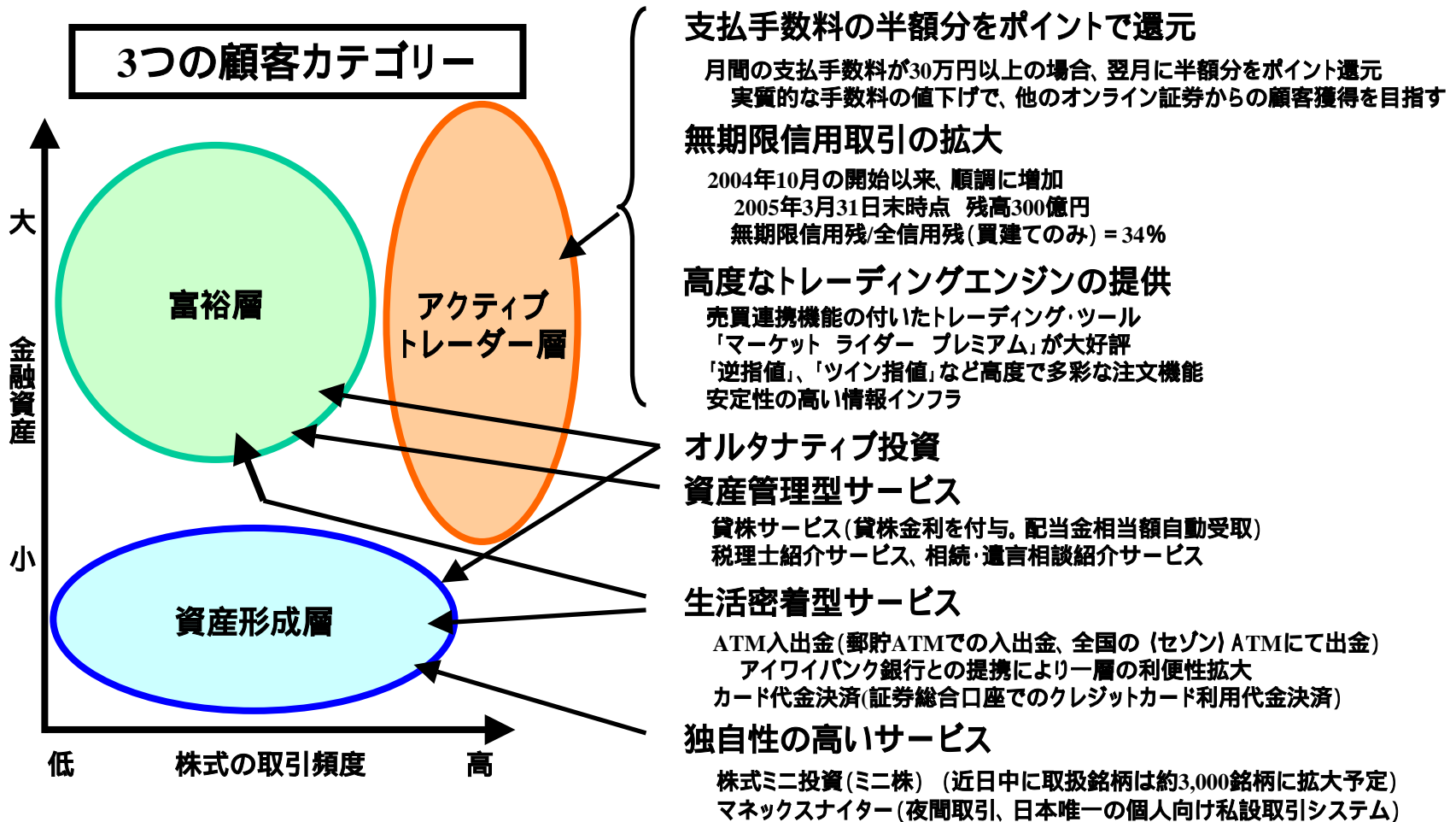


ROE



株式委託ビジネス：顧客基盤の拡大と収益の安定的成長を両立

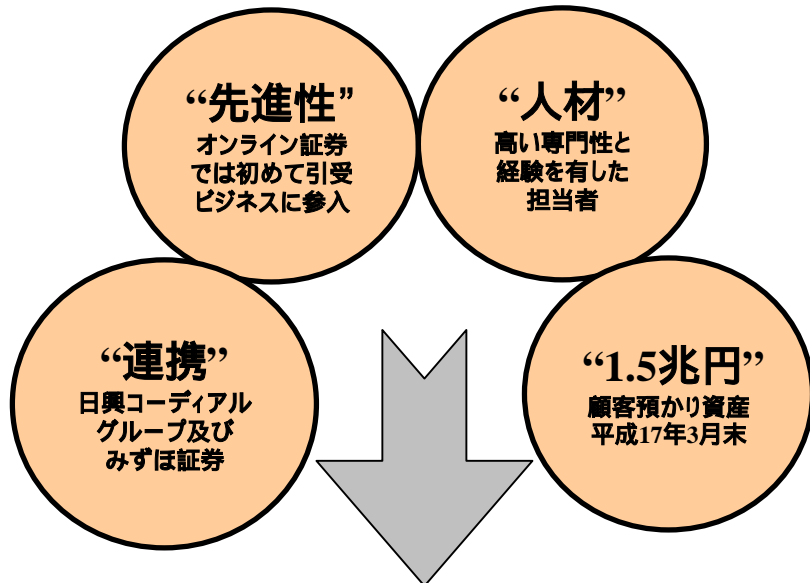
お客様の多様なニーズに合致する高付加価値の商品・サービスを継続的に提供



引受ビジネス： 投資家・企業双方から高い評価

新規公開株式の個人投資家への配分シェア“82%”

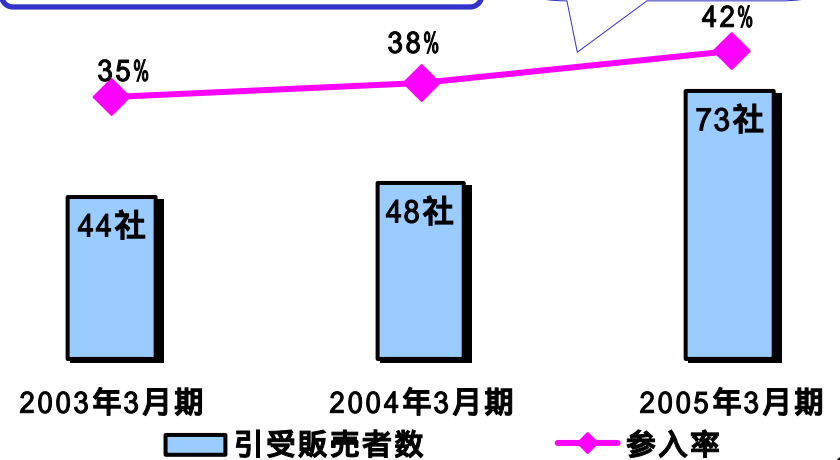
日本証券業協会調べ (2004年1月～12月)



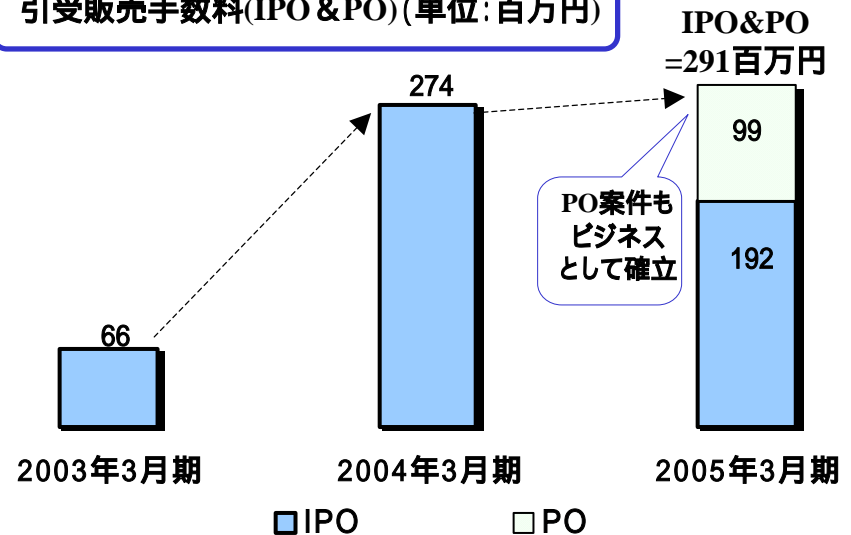
投資銀行業務の一層の発展に
向けて体制を整備

主幹事案件の獲得へ

新規公開引受件数及び参入率



引受販売手数料(IPO & PO)(単位:百万円)



投資信託ビジネス：オンライン証券業界のフロントランナー

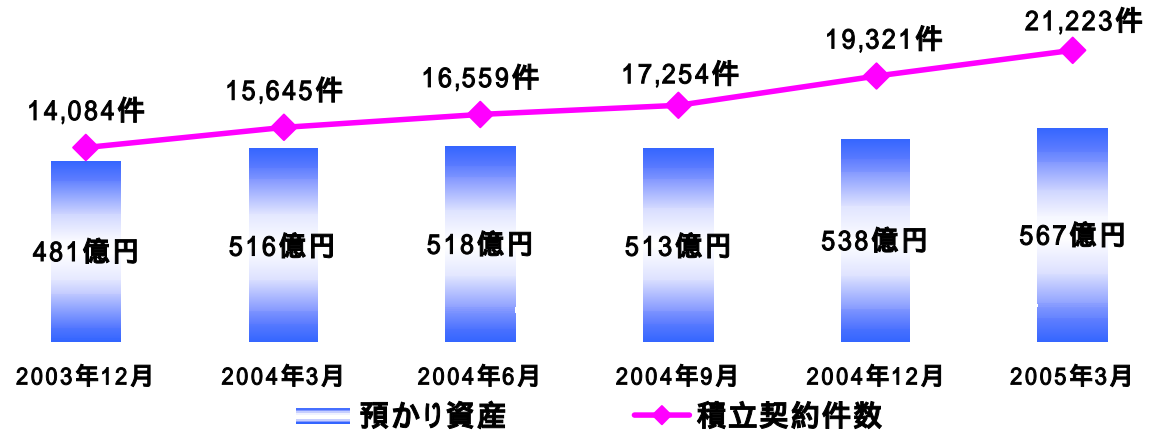
預かり資産：積立購入プログラムが資産形成の手段として浸透し、順調に増加

積立購入プログラム

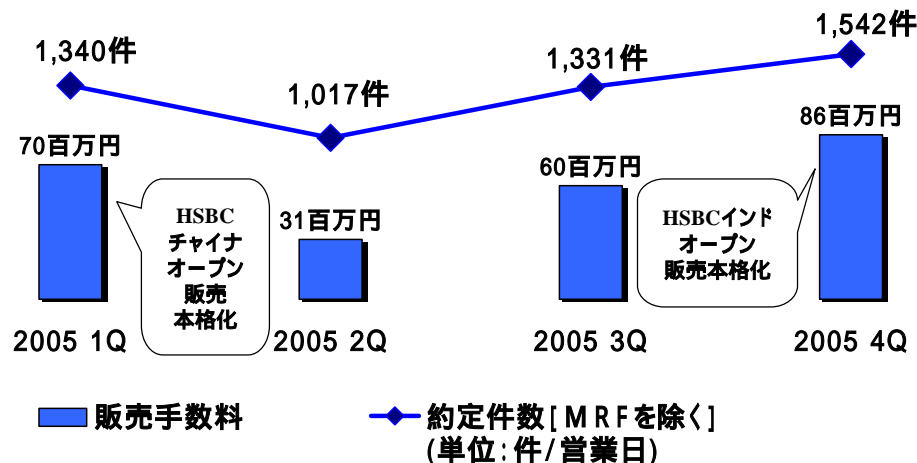
証券口座、銀行口座及び郵貯口座から定額自動積立
月間 21,223件 約4億円 (2005年3月実績)

バンガード

米国外で唯一販売
2005年3月末残高 約34億円



販売手数料：中国/インド株投信等アクティブファンドの販売に支えられ好調



タイムリーな商品供給

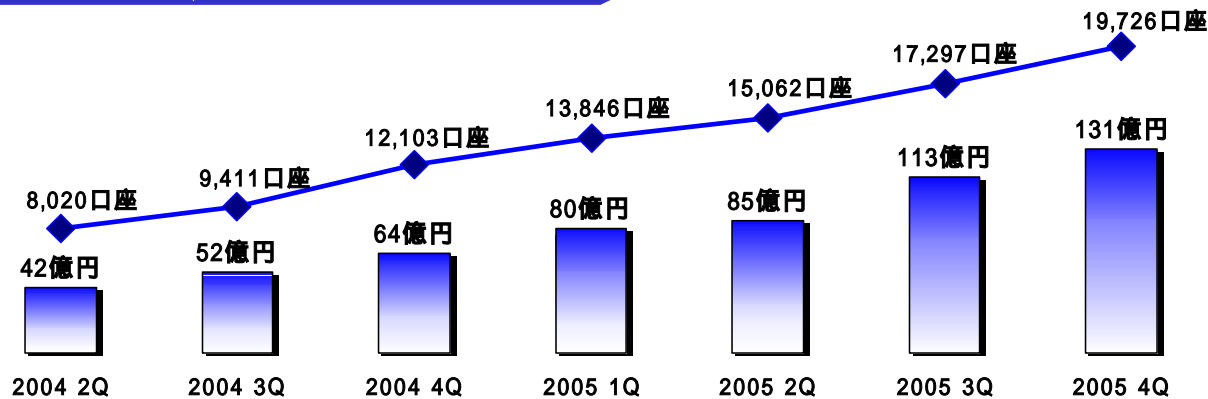
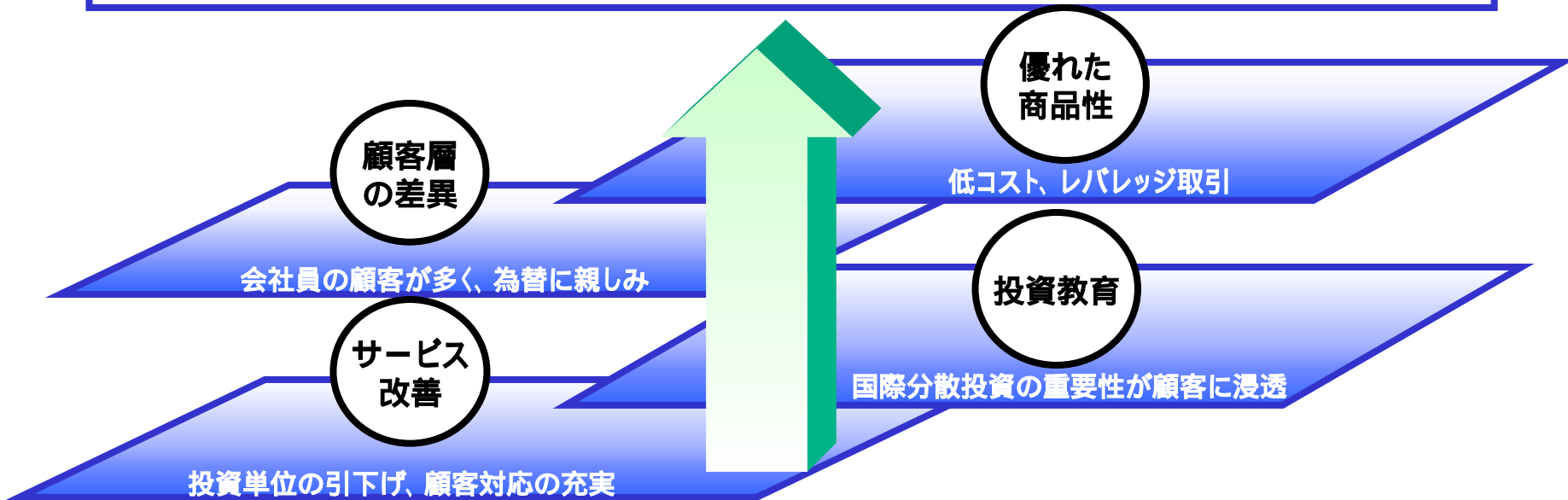
BRICs 市場の活況
「HSBCチャイナオープン」
「HSBCインドオープン」

ファンドセレクション

経営の独立性に基づき、数千本以上あるファンドの中から顧客本位の立場で選定

FX(外国為替保証金取引)ビジネス： 成長トレンドを持続

“口座数”、“保証金残高”ともリテール最大級



口座数はマネックス証券、日興ビーンズ証券両社間の重複口座を勘案しておりません。

■ 保証金残高 ◆ 口座数

債券ビジネス：動き始めた個人金融資産 “貯蓄から投資へ” “円から外貨へ”

“ペイオフ解禁”、“超低金利政策”及び“公的年金制度への不安”etc.
 預貯金を中心とする日本人の個人金融資産ポートフォリオに変化の兆し

“貯蓄から投資”へのシフトの兆し

個人向け国債の発行額
 第1回(2003年3月)発行:3,835億円

第10回(2005年4月)発行:2兆3,374億円

“円から外貨”へのシフトの兆し

家計部門 対外証券投資等残高()
 1998年3月末:6.3兆円

2003年3月末:12.5兆円

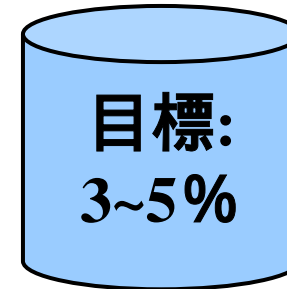
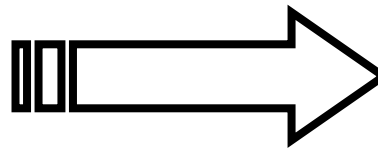
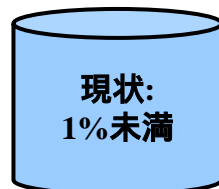
外貨預金と対外証券投資の残高を合計
 (出所)日本銀行資金循環勘定より作成

個人金融資産の移動は序章の段階。債券ビジネスを収益の一支柱とすべく、積極展開を計画。

個人向け国債
 大手オンライン証券では
マネックス・ビーンズ
 と他1社のみ販売

当社預かり資産に

占める債券残高の比率



1.商品ラインナップの強化

現状:“個人向け国債”&“世銀債”+ “**独自商品**”の投入

2.サービスの改善(決済方法 etc.)

3.投資教育の継続

オルタナティブ投資： マネックス・ビーンズは「オルタナティブ投資元年」を宣言します

マネックス・オルタナティブ・インベストメンツ(ゲートキーパー・会社)が「目利き」となって、厳選した商品をご紹介します

以前は...

機関投資家・
一部富裕層



幅広い
個人投資家の
参加の時代へ

...にだけアクセス可能だった商品

マネックス ファンド・オブ・ファンズ (2004年12月より運用開始)

40ファンド以上のファンドの精査を行い、
現在約10件程のファンドへの投資に目処

ヘッジファンド 30%

+

70%

企業統治
ファンド

+

不動産
ファンド

+

再生系
ファンド

+

ベンチャー・
キャピタル

マネックス - フルトン*

アジア ファンド・オブ・ヘッジファンズの設定

これまでにない日本・アジア太平洋地域フォーカスの
本格的ファンド・オブ・ヘッジファンズを組成・提供し
ポートフォリオの分散強化・投資機会拡大を可能に

2005年夏予定

*フルトン:シンガポール政府機関の運用会社

オルタナティブ・セミナー (2005年3月)

オルタナティブ投資の第一線で
活躍中の運用者をスピーカーに招き、
個人投資家対象としては、
『世界初』の**2,000人規模**の
セミナー開催

マネックス・オルタナティブメール

メールによるオルタナティブ投資の
無料情報の提供を開始(2005年1月)
現在約**8,000人**が登録!

独自サービス：オンライン専業証券で初のサービス

取扱銘柄数が**3,000以上**のサービスが続々スタート！

貸株サービス

- ◆「**配当金相当額**」も総合口座に自動入金！貸株通帳で簡単確認
- ◆銘柄数約**3,000銘柄**、大手含め貸株市場において貸出可能数「**1位**」
- ◆2005年4月、税制改正により特定口座でも貸株が利用可能に！2005年度中システム対応予定

株式ミニ投資(ミニ株)

- ◆取扱銘柄数は約**3,000銘柄**に近日増加予定(現在約300銘柄)

信用取引シミュレーター

お客様の取引状況をベースに様々なお取引のシミュレーションを実現例) 損益分岐点、担保状況、信用余力など

マネックスナイター(夜間取引)

- ◆銘柄数は**3,000銘柄**以上
- ◆我が国唯一の個人向け私設取引システム
- ◆**手数料一律500円(税込)**
「マネックスナイターワンコインキャンペーン」実施中(2005年4月下旬まで)

ATM、カード

- クレジットカード一体型キャッシュカード
アイワイバンク銀行との提携
全国10,000台以上のATMより
入出金等が可能に
- ◆全国約25,000台の郵貯ATMから入出金が可能、**入金手数料無料!**
 - ◆マネックスポイントは(セゾン)永久不滅ポイントに交換可能

商品先物

楽々

- ◆総合口座より資金移動可能
- ◆物価上昇局面でヘッジとして有効

(全5商品)

金 白金 ガソリン 原油 灯油

株主向け優遇サービス

提携会社の個人株主等が、同社の現物株式を買付けた場合の「株式売買手数料」は**無料!**

提携会社: 東京ガスなど**13社**

商品ラインナップ：オンラインを通して金融パラダイスを提供します！

投資初心者

アクティブ投資家

メールマガジン 各種アラートメール(約定・株価通知)

先駆け

マネックスブログ

先駆け

マネックス(セゾン)カード

先駆け

特典付きショッピングサイト
「ビーンズdeオトク」

郵便局、アイワイバンクのATMで入出金
(2005年7月予定)



中国株(2005年5月予定)

月間手数料30万円以上半額還元

サーフィントレード

制度・一般(無期限)信用取引

逆指値・ツイン指値

権利入札取引

先駆け

オルタナティブ投資

先駆け

株主向け優遇サービス

FX(外国為替保証金取引)

商品先物取引(CX)

先駆け

厳選したセレクト投信

信用取引シミュレーター

先物・オプション

先駆け

株式ミニ投資(ミニ株)

貸株サービス

先駆け

カバードワラント

マネックスナイター(夜間取引)

先駆け

損害保険

個人向け国債・外国債券

他社に先駆けて提供している商品サービス

生命保険

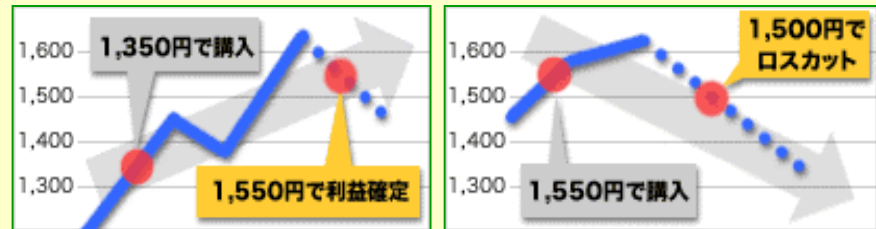
相続・遺言相談紹介サービス

税理士紹介サービス

新サービス： 合併によりこんなサービスがご利用いただけます！（1）

マネックスのお客様へは新たに！

- **逆指値・ツイン指値**
利益確定やリスク管理に便利！
- **無期限一般信用取引**
制度信用だけでなく無期限一般信用取引もご提供！
- **商品先物取引**
金、白金、原油、ガソリン、灯油取り扱い！
- **マーケット ライダー プレミアム**
1,000銘柄まで登録できる「銘柄登録リスト」！
- **Market Walker**
リアルタイム自動更新の株価チャートなど多彩な情報を搭載したプロトレーダーなみの情報を活用！
- **カバードワラント**
少額からでも株式等に投資すると同様の効果が期待できる注目の商品！
- **中国株（2005年5月開始予定）**
リアルタイム株価に加え、入手にくい中国市場の個別銘柄情報なども豊富かつ迅速に提供！



新サービス： 合併によりこんなサービスがご利用いただけます！（2）

ビーンズのお客様へは新たに！

- **マネックスナイター（夜間取引）**
日本で唯一の夜間市場をご提供！
- **貸株サービス**
株券を貸し出すだけで、貸株金利がつくサービス！
- **株式ミニ投資（ミニ株）**
ミニ株は売買単位（1単位）の1/10単位からお取り引き可能！
- **マネックス（セゾン）カード**
 - ・全国約25,000台の郵貯ATMで入出金可能
 - ・全国の（セゾン）ATMにて出金が可能
 - ・アイワイバンク銀行ATMにて入出金可能（2005年7月開始予定）
- **債券（国債・外債）**
個人向け国債（口座管理料無料）、外国債券も取扱い！
- **オルタナティブ投資商品**
株や債券を買うという伝統的な投資手法の代替商品として今話題！
- **先物・オプション取引**
日経225先物や日経225オプションをご提供！

★ マネックスナイター（夜間取引）



マネックスに預けている株券を、マネックスに貸出すことで、金利がつくサービス

貸株サービス（愛称：はたらく株さん）



キャッシュカードがあれば、
マネックスはますます便利！！

マネックス《セゾン》カード (クレジットカード一体型)

第10回 個人向け国債

口座管理料無料。国債はマネックスで。

初回利率 年0.73%

募集期間 3/10～3/29

投資教育：パラダイムの転換「個人が自分で資産運用を行う時代」へ

設立以来、いかなる経営環境においても投資教育を重視。何故、重視し続けたか？

マネックス・ビーンズは「金融商品の販売」ではなく、「お客様の資産形成に貢献する」に主眼
「中長期的な資産形成の可否は各人の金融リテラシーに従属する」を認識

「金融商品に関する正確な知識」と「分散投資の重要性」をフルラインの商品とパッケージで提供

投資教育

フルライン
の商品

お客様の
資産形成に貢献

マネックス・ビーンズの持続的発展

投資教育コンテンツ:5年以上の年月を重ね、質量とも優れたオンライン・オフラインのコンテンツを創造

マネックスメール
35万人を超える購読者
週6回の発行
有力執筆陣



大規模セミナー
2004年9月4日実施
「お客様感謝デー」
2005年3月12日実施
「オルタナティブ投資セミナー」
合計で3,000名以上の参加者



勉強会
本年度総参加者数1万1千人以上
本年度89回実施
全国各地で開催



書籍・DVDの販売
DVD・・・累計販売数5,000枚超
書籍・・・「内藤忍の資産設計塾」他



上記に加えて、多数の投資教育コンテンツをホームページ上で提供

.財務情報および事業の概要

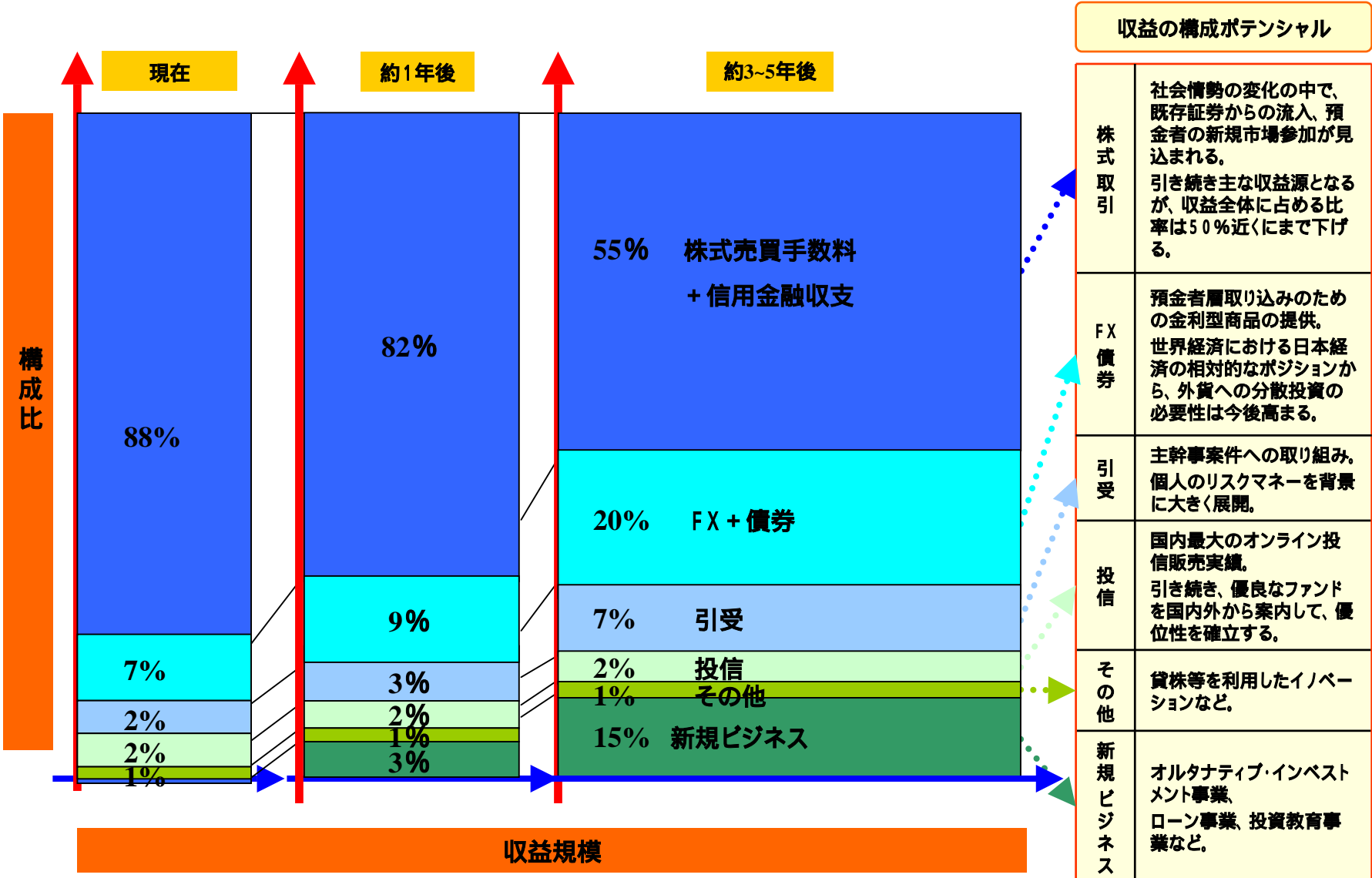


.経営モデルと今後の展開

ミッション・ステートメント

- ◆ オンライン・トレーディングを提供するのではなく、オンラインによる個人向け総合金融サービスを提供する。
- ◆ 株式だけでなく、幅広い金融商品・サービスを提供する。
- ◆ 能動的に売買判断をしない層へもサービスを提供する。
- ◆ 自ら商品組成 (Origination) できる体制を強化する。
- ◆ 預かり資産当たりコストを更に低減させ、資産管理型ビジネスモデルを完成させる。
- ◆ 持株会社により、金融機関の業際の変化にダイナミックに対応。
- ◆ 投資教育・啓発活動を更に強化していく。

ビジネスモデルの現在と未来： 収益ポテンシャルの厚みを増し更に拡大



進む他業種との提携

証券仲介業

クレディセゾンとの業務提携

2004年12月16日開始

・西武百貨店池袋店7階のセゾンカウンター
および、クレディセゾンのホームページを経由
して、口座開設可能に。

2005年3月10日開始

・セゾンカウンター、およびクレディセゾンの
ホームページで、個人向け国債の取次販売
を開始

証券仲介業ビジネスにおいて、ノンバンク
業界との提携は業界初の試み

クレディセゾンHP



口座申込取次

アイワイバンク銀行との業務提携

2005年4月27日開始予定

イトーヨーカドー蘇我店の「お金の便利コーナー」
にて口座申込取次開始



ATM提携

クレディセゾンとのATM提携

2001年8月28日開始

・(セゾン) ATM(全国約1,000台)にて出金可能

日本郵政公社とのATM提携

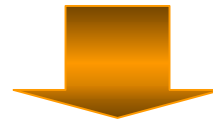
2001年10月1日開始

・全国約25,000台の郵貯ATMで入出金可能

アイワイバンク銀行とのATM提携

2005年7月開始予定

・アイワイバンク銀行のATMにて入出金可能
(25都道府県に約10,000台、セブン - イレブン
やイトーヨーカドー等に設置)



- ・オンライン証券にオフラインの強みを付加
- ・身近な生活口座として顧客の利便性の更なる向上を追求
- ・更に積極的に他業種との証券仲介業を中心とする提携を模索
- ・オンラインによる個人向け総合金融サービスを提供する土台を構築

マネックス セゾン カード



フルラインサービスの実現： 全てのお客様の満足の為に

(2005年4月20日現在)

	株式関連						貸株サービス		債券	投資信託		代替投資		その他			
	一般信用	逆指値	中国株式	米国株式	夜間取引	ミニ株・単元未満株	金利付与	配当金相当額自動受取	個人向け国債・海外債券	積立プログラム	中国株投信 インド株投信	非分散投資型	分散投資型	商品先物	為替保証金取引	ATM 入出金	カード 代金決済
マネックス・ビーンズ			注(1)	×													
イー・トレード		×			×		×	×		×			×	×		注(2)	注(2)
松井		×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×
楽天					×	×	×	×	×	×			×	×		×	×
カブドットコム			×	×	×		×	×	×			×	×	×	×	×	×

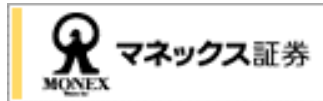
出所：各社IR資料等

：マネックス・ビーンズ証券のみ提供中 ○：提供中 △：提供予定 ×：提供無し

注：(1) 2005年5月開始予定 (2) 2005年7月開始予定

合併効果： マネックス証券 + 日興ビーンズ証券 オンライン証券の可能性を追求

フルラインサービスによる顧客基盤の拡大

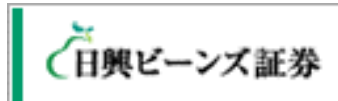


<マネックス; 初心者層>

- ・株式ミニ投資(ミニ株)
- ・貸株サービス
- ・個人向け国債の販売
- ・マネックス(セゾン)カード
- ・マネックスナイター(夜間取引)



Monex Beans



<日興ビーンズ; アクティブ層>

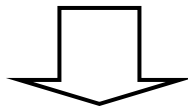
- ・多彩な注文方法;
逆指値、ツイン指値
- ・売買連携ツール;
マーケットライダー プレミアム
- ・一般信用取引
- ・商品先物

2005年5月1日
マネックス・ビーンズ証券
わが国最大規模のオンライン証券の誕生

システム関連コストの大幅削減

<合併前>システム関連コスト

57億円 / 年(実績から年間ベース)



<合併後>システム関連コスト

34億円 / 年(実績から年間ベース)



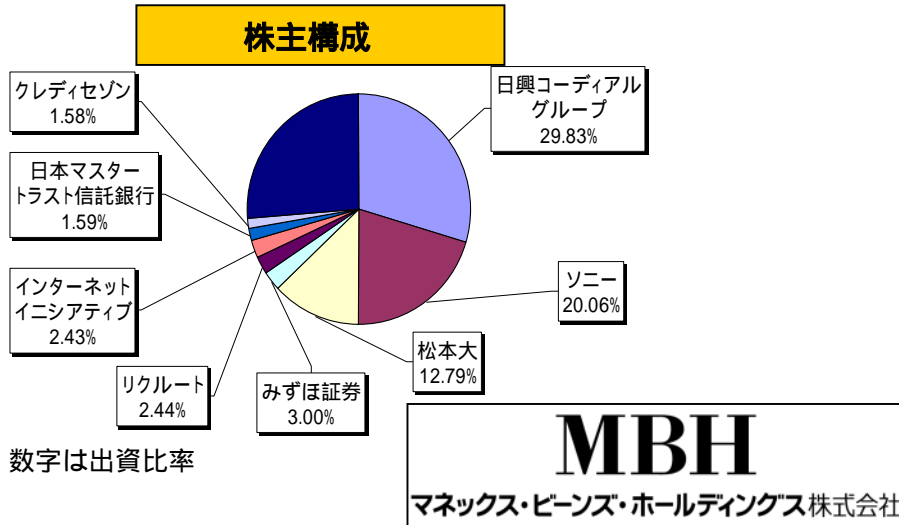
削減効果

毎年23億円の費用削減見込み

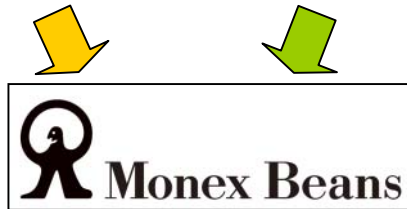
2006年3月期第2Qより削減効果が見込まれる

ただし、合併に付随するシステム移行並びに統合コストとして一時費用が発生する見込み

MBHグループの現状と今後



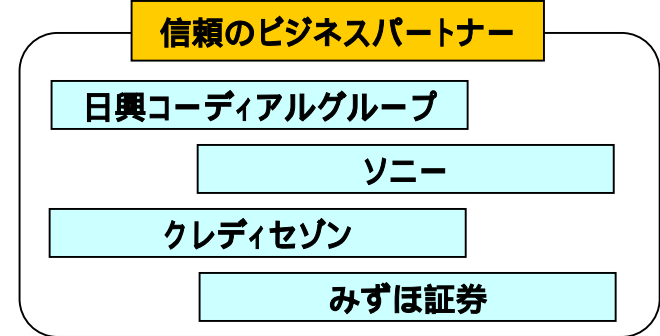
数字は出資比率



マネックス・ビーンズ証券
2005年5月1日
わが国最大規模のオンライン証券の誕生

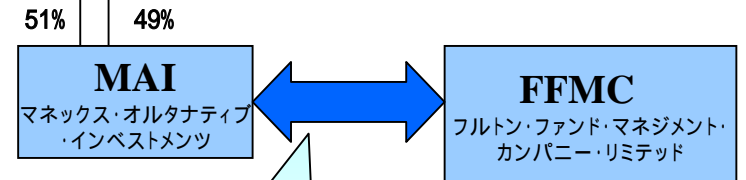
ローンビジネス会社
投資教育会社 etc.

必要に応じ、
子会社設立
JV設立
資本参加
提携 など



あすかアセットマネジメントリミテッド

世界レベルのトッププレイヤー(あすかアセットマネジメントリミテッド、FFMC)との強力なネットワークにより、良質のオルタナティブ投資商品を個人投資家へ提供



アジア太平洋地域の市場に焦点をあてたファンド・オブ・ヘッジファンドを共同で設定することに合意

シンガポール財務省が100%出資のタマセック・ホールディングスの100%子会社

株主の皆様へ

経営指標

経営指標として株主資本利益率(ROE)を重視し、適正な内部留保を行います。今期の実績値は下記の通りです。

税引前ROE = 33%
税引後ROE = 27%

配当

株主の皆様への利益還元として、配当を行います。配当性向を高めることが基本方針ですが、当社の事業運営と成長のための資金に充当するために、しばらくの間は配当性向を抑制することがあります。

1株当たり今期配当 = 500円
(2005年6月株主総会に付議)

情報開示

1. 開示内容
財務情報に限定せず、トラブルなどの負の情報、経営の方針やその変更など、より多くの情報を積極的に開示しています。
2. 開示方法
東京証券取引所の「TDnetシステム」への登録、「兜倶楽部(記者クラブ)」への投函及びホームページ上への掲載(日本語・英語)により同時開示しています。
3. 週次・月次開示
口座数、1営業日平均株式注文数などの情報を定型化し、ホームページ上で開示しています。

コーポレートガバナンス

1. 内部統制の強化
内部監査、監査役監査、外部監査を始め、MBHグループとしての内部統制の強化に努めています。
2. 外部からの牽制を促進
情報開示を積極的に行うことにより、外部からの牽制を受けやすくしています。
3. アドバイザリーボードの設置
四半期に一度、各界の有識者から多面的・中立的な意見を頂き、経営に反映しております。

MBH

Monex Beans Holdings, Inc.

未来の話をしよう。